

議 事 録

会議名	令和２年度第２回守山市介護保険運営協議会
開催日時	令和２年７月３１日（金）午後１時３０分から午後３時まで
開催場所	すこやかセンター３階 講習室
委員出席者	清水委員（会長）・藤井委員（職務代理者）・奥村委員・石原和成委員・瀧上委員・臼井委員・井上委員・小川委員・田附委員・本條委員・小田委員・兼松委員・山岡委員・石原紀代子委員（順不同）
欠席者	藤本委員
事務局	高橋理事 （介護保険課）西田課長・竹村参事・田中係長 （長寿政策課）遠山課長・吉野係長・平野主任 （地域包括支援センター）池田所長・上本参事・安田係長
会議の次第	１ 開会 ２ 報告事項 （１） 令和２年度第１回および第２回地域包括支援センター運営協議会の報告について 第１・２回地域包括支援センター運営協議会資料 （２） 令和元年度介護保険事業の実績報告について 資料１ ３ 協議事項 （１） 第８期高齢者福祉計画・介護保険事業計画 骨子（案） ・第８期計画の基本的な考えについて（案） 資料２－１ ・第７期計画における取組の検証と課題等 資料２－２ ・第８期計画の施策体系（案） 資料２－３ ・（仮）守山いきいきプラン２０２１（骨子案） 資料２－４ ４ 閉会
議事録の作成方法	☒ 要点筆記 ☐ 全文記録 ☐ その他
会議資料	✧ 令和２年度第２回守山市介護保険運営協議会 次第 ✧ 守山市介護保険運営協議会委員の所属委員会について ✧ 第１回介護保険運営協議会 資料における委員からのご意見と検討事項一覧 ✧ 第１・２回地域包括支援センター運営協議会資料 ✧ 令和元年度（第７期）介護保険事業の実績について〈資料１〉 ✧ 第８期計画の基本的な考えについて（案） 〈資料２－１〉 ✧ 第７期計画における取組の検証と課題等 〈資料２－２〉 ✧ 第８期計画の施策体系（案） 〈資料２－３〉 ✧ （仮）守山いきいきプラン２０２１（骨子案） 〈資料２－４〉 ✧ 令和２年度介護保険運営協議会等開催スケジュール
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍聴者数	０名

1 開会

(1) 挨拶

- ・石原紀代子委員が、被保険者代表として委員に就任された。
- (2) 紙面開催となった第1回介護保険運営協議会に対しての各委員のご意見について

第1回介護保険運営協議会 資料における委員からのご意見と検討事項一覧

【質疑応答】

清水会長	社会福祉の観点から、社会福祉士の共通認識や活用について聞きたい。
事務局（池田）	地域の中では、高齢者の権利擁護や高齢者虐待事案への対応を行っており、今後は困窮、引きこもり支援、就労等の対応も期待している。
清水会長	個々のケースへの対応だけでなく、地域のネットワークづくりのためにも、社会福祉士の活用が期待される。

2 報告事項

- (1) 令和2年度第1回および第2回地域包括支援センター運営協議会の報告について

第1・2回地域包括支援センター運営協議会資料

【事務局説明：上本】

- ① 令和2年度第1回守山市地域包括支援センター運営協議会
 - ・南部地区地域包括支援センターの運営のあり方に向けてのアンケートについて説明。
- ② 令和2年度第2回守山市地域包括支援センター運営協議会
 - ・中部地区地域包括支援センターの公募、北部地区地域包括支援センターの時期契約について説明。
 - ・第8期計画策定に向けた、地域包括支援センターの機能強化の課題整理について説明。

【質疑応答】 なし

- (2) 令和元年度介護保険事業の実績報告について

【事務局説明：竹村】

- ・令和元年度（第7期）における高齢者数および認定者の状況、介護サービスの利用状況、介護保険財政の状況について説明。

【質疑応答】

兼松委員	訪問看護サービスの需要が高まっていると感じるが、守山市内の訪問看護事業所や人員は足りているのか。
事務局（竹村）	守山市内には10カ所程度の事業所がある。現時点では充足していると考えている。
兼松委員	訪問看護サービスの存在を知らない人が多いので、充足しているように見えるが、潜在的なニーズはもっと多いように思う。

井上委員	介護保険料の未徴収金において、被保険者の救済策として減免申請等があると思うが、守山市における減免申請者数および生活保護の受給者数は年間どのくらいか。
事務局（竹村）	新型コロナウイルスの影響による介護保険料の減免申請については、現在10名程度、総計100万円程度である。
井上委員	通常の減免申請はどのくらいか。
事務局（竹村）	現時点での申請者は0名である。
井上委員	介護保険財政調整基金の残高は、第6期末と比べて増加しているが、近隣自治体等と比べてどういう状況であるのか。介護保険料への影響はあるのか。
事務局（竹村）	介護認定者が計画よりも軽度傾向であったこと、施設整備の遅れにより約1億6,300万円の積み立てを行ったことが増加の要因である。他市においても、億単位の残高があると把握している。次期計画の参考にしていきたい。
井上委員	施設整備の遅れが要因であるので、健全であると解釈するのは早計か。
事務局（竹村）	土地の買収や建設費の高騰等により、整備の遅れにつながった。今後は計画通りに進めていきたい。
石原和成委員	今年開設された特別養護老人ホームひいらぎの利用状況はどうなっているか。
事務局（竹村）	現在の入居者数は満床の状態である。職員の不足等の問題はなく、円滑に運営されている。

3 協議事項

(1) 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画 骨子（案）

- ・第8期計画の基本的な考えについて（案） 資料2-1
- ・第7期計画における取組の検証と課題等 資料2-2
- ・第8期計画の施策体系（案） 資料2-3
- ・（仮）守山いきいきプラン2021（骨子案） 資料2-4

【事務局説明：吉野】

- ・第8期計画の基本的な考え方、第7期計画の課題を踏まえた第8期計画の基本目標設定、第8期計画施策体系（案）における追加変更点および重点項目を説明。

【質疑応答】

田附委員	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第7期計画の内容を第8期計画において同じように遂行していくことは難しいのではないかと。With コロナの時代に向けて、第8期計画の補正案はあるのか。
事務局（吉野）	第8期計画の指針については、現在国で検討されている。守山市においては、国の方針を正確に把握し、第8期計画に反映させていく。

井上委員	第8期計画の施策体系（案）に記載されている「総合寿命」とは何か。
事務局（吉野）	「総合事業」の誤りである。
井上委員	第8期計画の基本体系（案）基本目標2の「安心をみんなで築く地域共生社会の実現」という表現は、市民にとっては難しいのではないかな。
事務局（吉野）	なじみのない表現であれば、表現の変更も必要かなと思う。より親しみやすい表現があれば、ご意見をいただきたい。
井上委員	第7期計画にある、「いつまでも安心して暮らしていけるための」という表現がよいのではないかな。
事務局（遠山）	市として重点的に打ち出していきたい内容であったことから、「地域共生社会」という表現に至った。よりわかりやすい表現があれば、検討していく。
淵上委員	第7期計画で公募していた小規模多機能型居宅介護への応募がないことへの方向性案として、先進事例を参考にした公募方法の検討、実施（市有地の活用等）とあるが、土地を無償貸与するということか。
事務局（西田）	第7期計画の公募を検証するなか、市の土地があれば、活用することを視野に入れている。
小川委員	「地域共生社会の実現」には、コーディネーターの役割を整えることが不可欠である。第8期計画では、コーディネーターの体制の見直しや取組体制の強化について、より具体的な内容を盛り込んでほしい。 また、外出支援のニーズは非常に高く、外出があつてこそその地域共生社会であるにもかかわらず、第8期計画施策の方向性において、「外出しやすいまちづくり」を重点的な取組の項目から外したのはなぜか。継続して入れてもらいたい。
事務局（遠山）	生活支援コーディネーターや市職員が、地域支援活動や施設等、様々なものを結び付ける働きかけを行っていききたい。 また、「外出しやすいまちづくり」は、重点目標として挙げた「地域共生社会の実現に向けた支えあいの地域づくり」と重複するのではないかなとの考えから、その中で検討することとした。
石原和成委員	第8期計画の施策体系（案）の基本目標1において、「健康長寿と元気力アップへの“いきいき”活動の推進」の“”（ダブルクォーテーションマーク）の表記が第7期計画と第8期計画で異なるので、統一した方がよいのではないかな。「いきいき」を強調するための“”（ダブルクォーテーションマーク）であるのか。
事務局（吉野）	第8期計画の表記を訂正する。また、「いきいき」を強調するためである。
石原和成委員	あまり意味がないのではないかな。
事務局（遠山）	「いきいき」には、高齢になっても生きがいや社会の中で役割を持つことがこれからの高齢社会を生きる原動力となる、との意味を込めている。
奥村委員	第8期計画の施策体系（案）の基本目標2において、在宅歯科についての課題が多くあるにもかかわらず、「在宅医療と介護の連携強化」が重点的

	な取組から外されている。重点的な取組として、強化していただきたい。
事務局（吉野）	ご意見を受け、再度検討させていただく。
田附委員	第7期計画では「高齢者の元気力アップ」とあったものが、第8期計画では「健康長寿と」に変更になっている。この表現では、高齢者は病気をすることなく元気でいなければならないように感じる。また、超高齢社会に向けた地域共生社会の実現について、表現になじみがないため、高齢化率等のデータを用いて現役世代の負担を示すことや、基本目標に掲げた経緯など、具体的な説明があるとよい。
事務局（吉野）	健康寿命の延伸に取り組んでいきたいとの意図から、「健康長寿」とした。また、今後の計画策定過程において、高齢化率や人口推計等のデータを用いて、現状の分析と今後の課題の整理を行っていく。
事務局（遠山）	「健康長寿」とは、病気や介護が必要な状態になっても、必要なサービスを受けることで日常生活がいつまでも続けられることを指している。地域包括ケアシステムの理念を実現する意味で、この表現に至った。
淵上委員	第8期計画では「いきいき」の「いき」を様々な漢字に置き換えてみてはどうか。「いき」の意味を拡大することで、市民の理解につながるのではないか。
事務局（吉野）	市民それぞれの思う漢字を当てはめて解釈してもらえるよう、ひらがな表記にしている。
清水会長	地域包括ケアシステムや地域共生社会については、市民に対して、「市民はサービスの受給者であると同時に、提供者としての役割を果たせないか」という意味を持つことを説明しなければ、伝わりづらい。また、地域の課題について、地域のコーディネーターをうまく活用するなど、今の行政とは違うスタイルを入れていかないと、地域共生社会の実現は難しい。
事務局（遠山）	市としての目標は、高齢者同士が支え合うことや、高齢者が必要に応じて介護や医療のサービスを取り入れることで、今までの生活を長く続けられる、という「地域包括ケアシステム」を発展させ、「地域共生社会」を構築することである。

議事終了

4 閉会

事務局より連絡事項

- ・第3回介護保険運営協議会 10月16日（金）午後1時30分からすこやかセンター3階講習室で開催予定
- ・第4回は12月24日（木）、第5回は令和3年2月26日（金）に、同じく午後1時30分からすこやかセンター3階講習室で開催予定
- ・第1回地域密着型サービス運営委員会 8月28日（金）午後1時30分からすこやかセンター3階講習室で開催予定

（午後3時 閉会）